

## 国の「原子力政策大綱」への“原子力基盤研究”についての 提言策定活動を開始

平成 23 年 (2011 年) 2 月 22 日

日本原子力学会 副会長 田中 知  
提言とりまとめ主査 大橋 弘忠  
標準委員会委員長 宮野 廣

原子力基盤研究は、我が国のエネルギーセキュリティーを支える一翼であることは論を待たない。原子力発電の国際的な展開が進む中、我が国への期待も大きなものとなってきている。それを支える原子力技術について、基盤となる研究開発の現場に関する課題を模索しつつ、これからのあり方、将来方向について産官学のそれぞれの立場を尊重しつつ、国としての方向性の枠組みのコンセンサスを形成することが必要と考えるものである。その上で、得られたものを国の「原子力政策大綱」に反映すべく提言として取りまとめたい。

本日 2 月 22 日、個別のグループでの議論を行う主査等が参加し、ワークショップの立ち上げと議論の方向性についての意識の統合を行う「原子力基盤研究検討会」(通称)のキックオフを行った。活動については、今後HPにて公開していく。

来月 3 月 31 日には、全体のとりまとめについての議論を行うワークショップを、当日午前 10 時より一橋記念講堂にて開催を計画している。

学会員の多くの方々の参加を期待する。

以上

(扱い) 標準委員会事務局  
菅野、岡村

電話 03-3508-1266、1263

Email : sc アットマーク aesj.or.jp

(アットマークを@に変更下さい)